

# 令和4年度 県政モニターアンケート調査結果

---

## テーマ：資源の有効利用について

### 【調査の目的】

日本国内では、売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう「食品ロス（フードロス）」が年間522万トン発生しています。これは、国民一人当たりで換算すると、毎日お茶碗1杯分（130g）に近い量を捨てている計算になります。

本県では、この食品ロスの削減のため、平成28年度から事業者や県民の皆様と行政が一体となって県民運動として取り組んでいます。

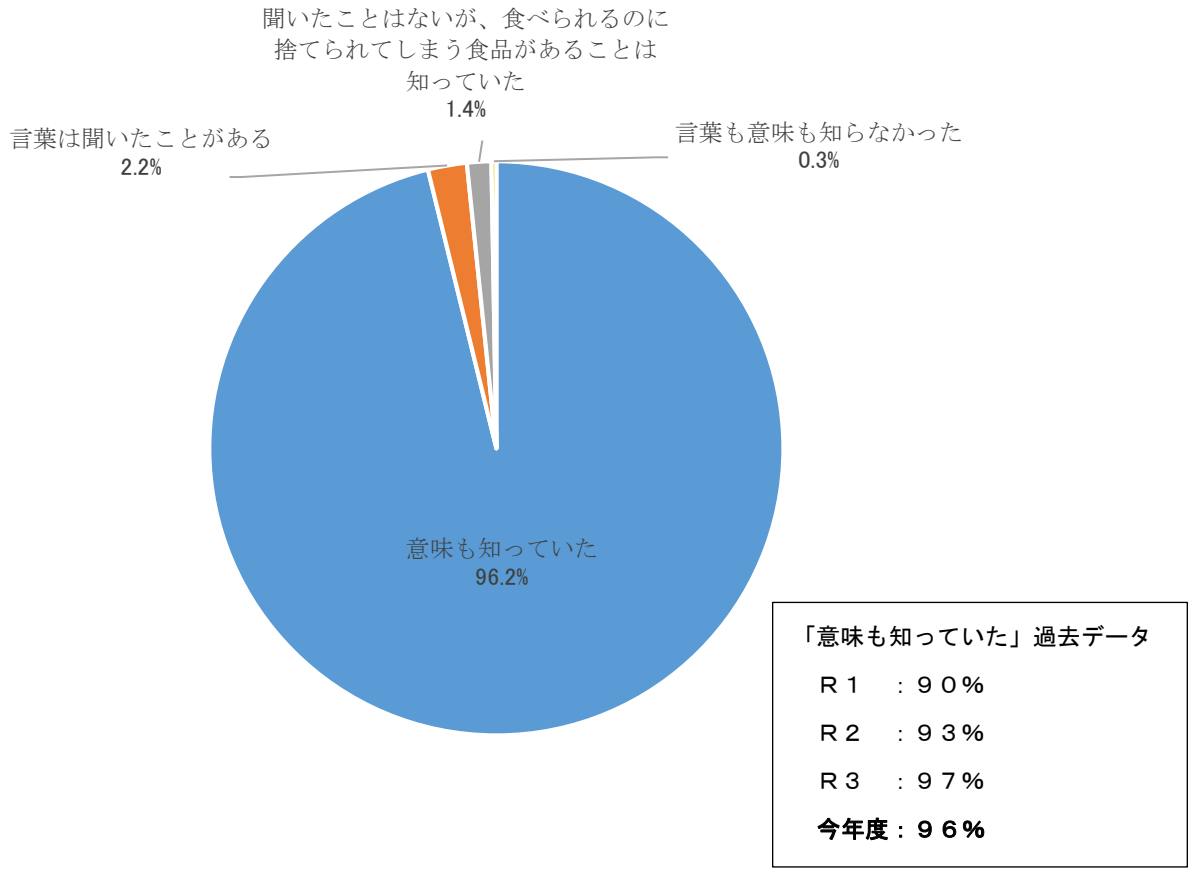
また、海洋プラスチックごみ問題を背景に、本県では、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用削減やプラスチック代替品の利用促進などに取り組んでいます。

プラスチック代替品の利用促進にあたっては、まず、プラスチック代替品にはどのようなものがあるのか、なぜ環境に優しいのかを知ってもらうことが必要であり、次のステップとして、環境に配慮した商品を選ぶという意識の醸成を図っていく必要があると考えております。

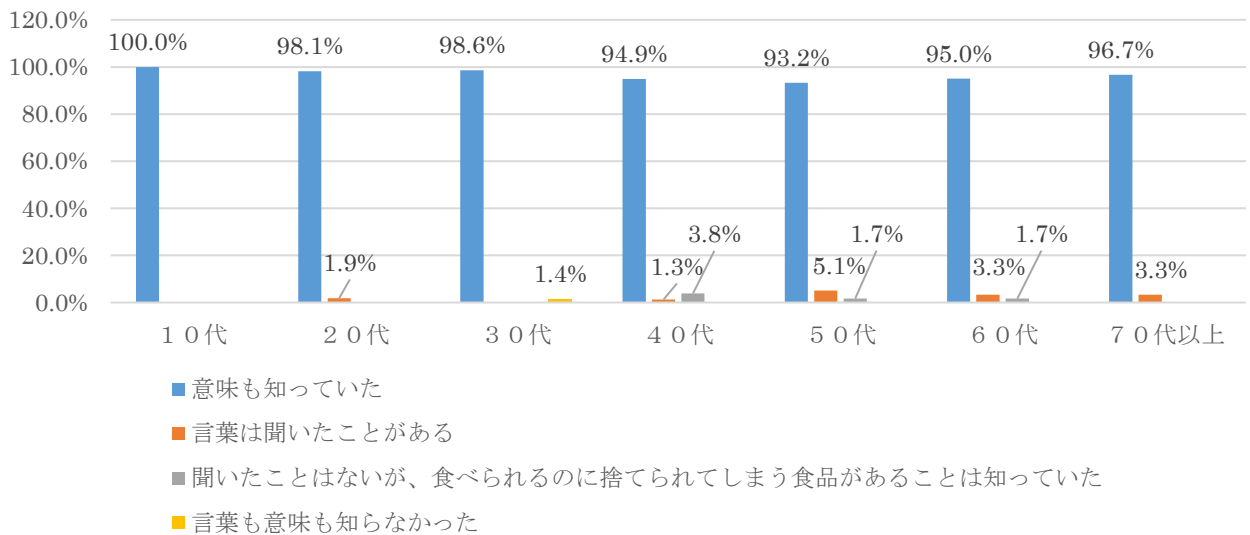
この調査結果は、食品ロス削減やプラスチック代替品に関する今後の行政施策の参考とさせていただきます。

（環境部循環型社会推進課）

問1 「食品ロス（フードロス）」という言葉について聞いたことがありますか。  
 また、その意味を知っていましたか。当てはまるものを一つ選んでください。（回答数：365）

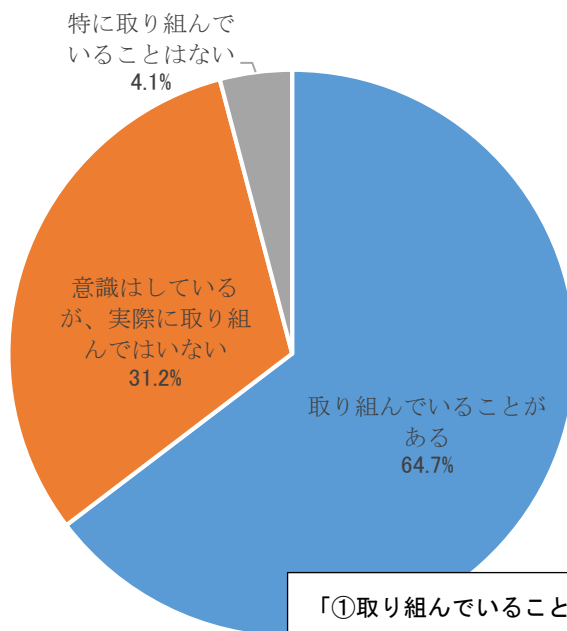


年齢別回答



○「意味も知っていた」と回答した割合は昨年度と同程度で96%を占めている。  
 ○言葉もしくは意味を知らない割合が40代以上に多い傾向にある。

問2 実生活の中で、食品ロス削減に取り組まれていますか。  
 当てはまるものを一つ選んでください。(回答数：365)

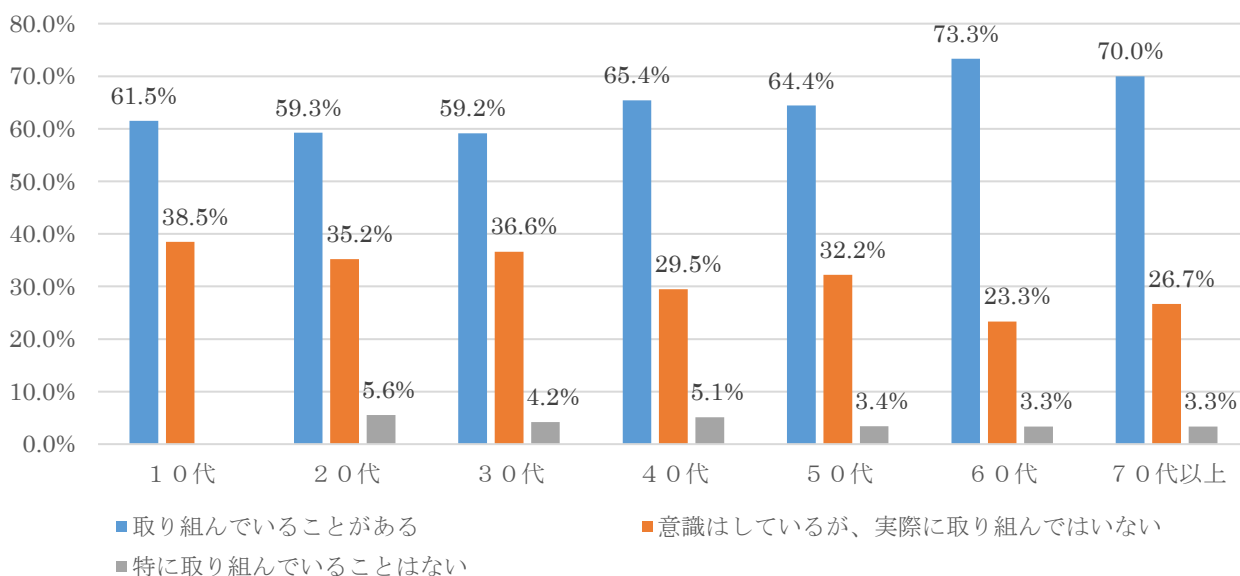


「①取り組んでいることがある」

「②意識はしているが実際に取り組んではいない」過去データ

R1	: ① 61%	② 30%
R2	: ① 62%	② 29%
R3	: ① 65%	② 29%
今年度	: ① 65%	② 31%

年齢別回答



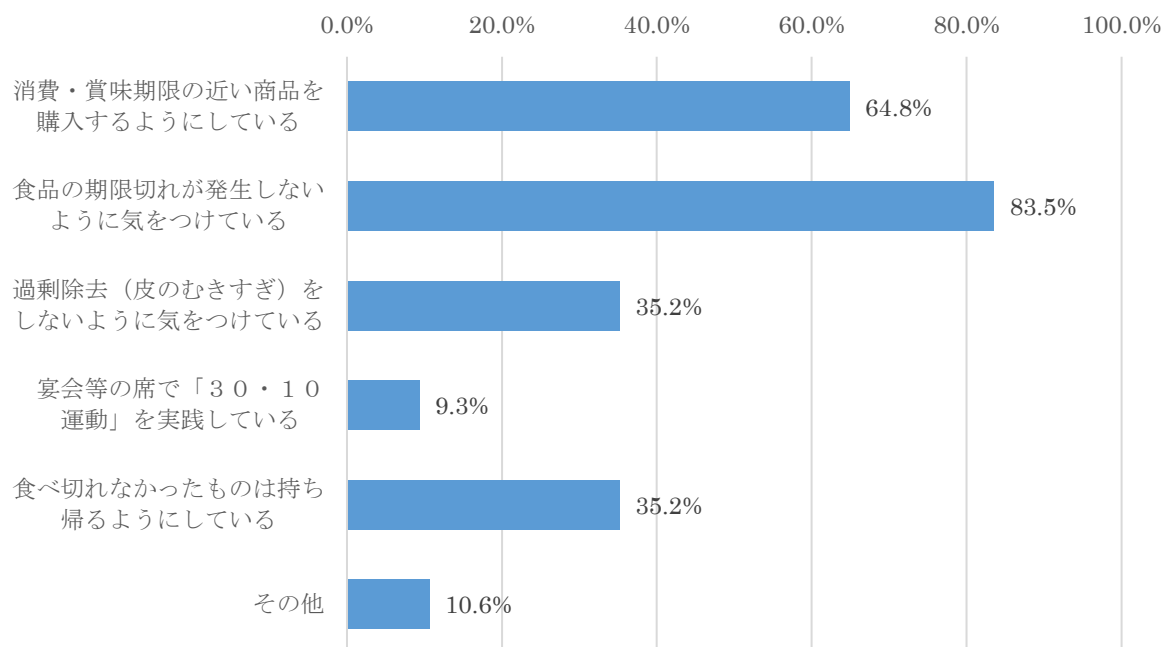
○「取り組んでいる」と回答した割合は、昨年度と同じ65%であった。

○年齢が上がるにつれて、「取り組んでいる」人と「取り組んでいない」人の割合に差がみられる。

問3 (問2で「1」を選択された方にお尋ねします。)

食品ロス削減のために、具体的にどのような取組をされていますか。

当てはまるものを全て選んでください。(回答数：563)

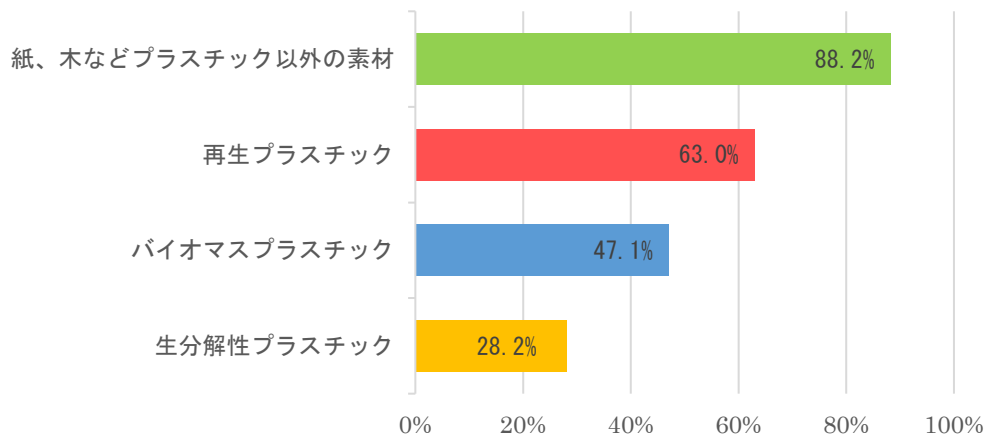


○「消費・賞味期限の近い商品を購入する」「食品の期限切れが発生しないように気をつける」と回答した割合が高く、取組を行っている人の多くが食品の期限切れに気を付けていることが分かる。

問4 問3で「その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

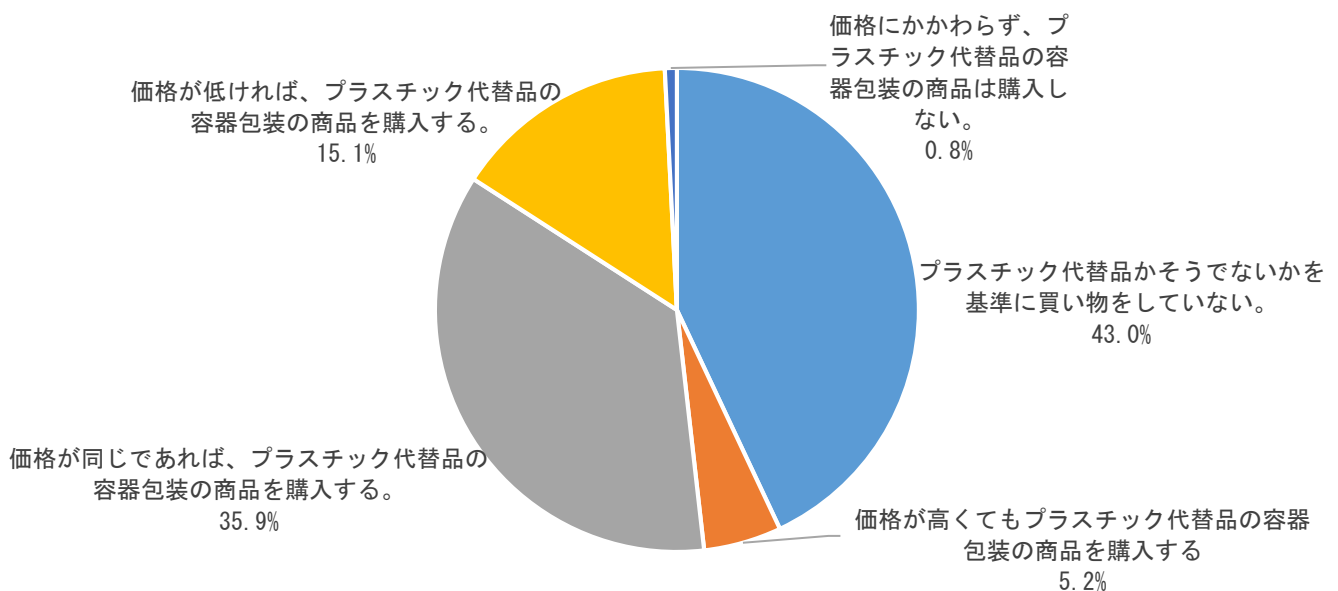
- ・食べ切れる量しか購入しないし、オーダーしない。
- ・フードバンクの実施や教育、子ども食堂への参加を通しての食育活動、フードロスを発生させない取り組みとして
- ・賞味期限の長いものを購入するようにしている。
- ・自宅で食べきれない食材は、フードバンクやご近所をお願いします。

問5 次に挙げたプラスチック代替品と呼ばれる環境に配慮した素材を知っていますか。  
知っているものを全て選んでください。(回答数：365)



- 紙や木など、身近にある素材については認知度が高い。
- バイオマスや生分解性など、素材の性質に由来した素材については、認知度が低い。

問6 普段の買い物の際、商品自体は同じもので、商品の容器包装が石油から作ったプラスチックでできたものと上記で挙げたプラスチック代替品でできたものがあつた場合、プラスチック代替品でできた容器包装の商品を購入する条件について、当てはまるものを一つ選んでください。(回答数：365)



- 「プラスチック代替品かそうでないかを基準に買い物をしていない」という回答が多い。
- 一方で、「価格が同じであれば、プラスチック代替品の容器包装の商品を購入する」とした回答も多いことから、環境に配慮するという意識が高まっているようにみられる。

問7 資源の有効活用について、これまでの設問以外に意見はありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

50～59歳	<p>食品ロスについては入り口と出口双方の対策が必要である。</p> <p>入り口は食品を過剰に生産しないようにするなど各企業に依るところが大きくなかなか簡単にはいかない部分であろう。</p> <p>出口となる部分でよく言われていることは「消費期限の短いものからの購入」などがあるが消費者にメリットがないこの方策の浸透は難しいのではないと思われる。期限切れ間近の食品の値引き販売の実施など消費者にメリットのある方策を考える必要があるのではないかと？</p> <p>食品ロスを少なくする食材の調理法を教える料理教室やインターネット配信など企画するのも一案だと思う。</p> <p>また、予算をつけて企業より消費期限間近の食品を安価で買い取り子ども食堂などの事業に配布または安価販売するなどしてはどうだろうか？</p> <p>再生プラスチックの事業については県民一人一人の意識の改革も必要だが行政が法整備するなどして企業と協力することが第一だと思う。</p>
60～69歳	<p>思うところはありますが、一般の意識向上にもっていくのは至難の技でしょう。</p> <p>資源ゴミの分別にしても、スーパーなどの入れ物は各人勝手な捨て方をされていて、家庭ゴミを捨てる場合は撤去しますと書かれているのが、情けないです。</p>
70歳以上	<p>石油から作られたプラスチックでできた商品には環境負担費みたいな費用を付加し、その分はプラスチック代替品の開発やコストの高い包装品の負担軽減に使うようにしたらどうだろうか。</p>
60～69歳	<p>家庭内での教育も重要だが、学校提供されている給食について、最も教育に重点を置いた指導を期待したい。「残さない」「自分の食べられる量だけ盛り付ける」「給食で提供されている食品の由来」等、色々考えると国語や算数、理科、社会よりも重要な教材になると思う。</p>
18～19歳	<p>マイバックを持ってスーパーに行っても、ほとんどすべての商品はプラスチックに包まれて販売されている。消費者の選択肢は非常に少ない。プラスチック包装を使わない流通の仕組みが必要だと思うが、個人の力ではどうにもならない次元で県が牽引してくれることが望ましく思う。</p> <p>また、ある会社の社長が、環境に良い商品は付加価値がつくから少々高いとニュースでコメントしていたが、本当に環境に良い製品を広めるためにはせめて同じ価格で買えるように、企業が難しいならば国の政策として促進した方がよいと考える。</p>
50～59歳	<p>フードバンクで一時バイトしていました。</p>
70歳以上	<p>代替品かどうかの判断方法が、わかりません。具体的に何をどう見たらいいのか教えてください。</p>
50～59歳	<p>プラスチック代替品を作るのにお金がかかると思うが、もっと増えたらいいなと思います。</p>
40～49歳	<p>必要な分だけを利用する事が大切だと思いますが、現実的には難しいと思います。</p> <p>注文を受けた分だけを作るようにできれば無駄もなくなる。</p>
40～49歳	<p>個人や各家庭の生活上でフードロス削減やプラスチック代替品の使用に日々取り組むことも必要で重要である一方、それだけでは限界があるので、県内の大手に限らず、中小、零細企業などにも「できる限り」資源の有効活用を推進、実行化させるような具体的な条例や法案などがあってもいいのではないかと考えます。大切なことなので、もはや義務化させてもいいのではないかと考えます。</p>

50～59歳	ストローが紙になると、味が美味しくなくなります。イイ方法が、ないでしょうか？ レジ袋を忘れた時、地域指定のゴミ袋をバラ売りしていただきたい。どこか忘れましたが、他県で、やってました。
40～49歳	再利用ありきでなく、今あるものを長く使えるシステムを構築してほしい。 耐久性の低い、リサイクル前提の商品は修理も出来ず、愛着が湧いても壊れたらゴミになってしまう。
40～49歳	バイオマスプラスチック、生分解性プラスチックについて知らなかったのが勉強になりました。 買い物をする際、どこかに見分けるための表示があるのでしょうか？ 身近にできる SDGs は沢山あるとよく見聞きしますが、まだ知らないことが多いと感じました。 興味をもって自分で調べないと、なかなか詳細まで辿り着かないのが現状かもしれません。 プラスチック容器で商品提供されている販売店に目立つポップを置いて、どのように環境に良いのか＝美味しい空気、水など、私たちに直接関わることを意識付けできればいいと思う。
30～39歳	賞味期限が切れがちな商品を一気に消費するレシピなどを紹介してほしい。 家庭内で賞味期限を切らしてしまうものと、店舗で破棄されているようなものも含めた紹介だとロスを減らすことに貢献できるかと思いました。
50～59歳	我が家では、ご飯は食べきれぬ量しか作りません。余ると、破棄しなければならなくなるからです。 食品の買い物も、買いすぎないように気を付けています。野菜や果物の皮やお茶がらは、庭に穴を掘った中に捨て、肥料にしています。キッチンペーパーと、さらし布巾を併用して使用しています。布巾は洗う手間がありますが、併用だとキッチンペーパーをそんなに使いません。
30～39歳	肉などの過剰包装（底上げ）を止めればいいと思う、昔のように対面の肉屋さんから買うような感じにすればプラごみ減るかと思う。 スーパーでプラごみをその場で捨てて帰る人がたくさんいるくらいに、肉とかのトレーは、けっこうな割合でいらないと思ってるのでは？
70歳以上	問3の1に該当すると思われるが、スーパーの陳列棚で「手前取り運動」（賞味期限の遅い物を奥の方から取るのではなく、なるべく手前から取るようにしましょう！）を、もっと広く普及させる。 見切り品をなるべく買う・・・捨てられる前に、活かせる物は最大限利用してもらう。
50～59歳	現在は、リサイクル・リユース等の情報が多く出されるようになり、各業界で工夫されているように考えられる。しかしながら、ごみの分別が未だできないケースも多く、リサイクル・リユースの機会を失う対象材料もある程度はあるようだ。ごみの分別に関して、もう少し厳格化したらどうだろうかと思うことがある。
70歳以上	資源の有効活用に取り組んでいる企業が増えて来ている昨今、そのような企業を紹介する企画があっても。また、県として企業支援活動、助成制度を検討しては？
60～69歳	消費、賞味期限の表示が小さすぎる。そのため、期限切れに気が付かず廃棄することがある。もっと大きな字でまた、表示場所が商品によってばらばら。表示場所を統一すべき。
30～39歳	勉強になりました。こういった知識を知っているかどうかで、これからの行動に繋がると思いました。
30～39歳	プラスチックか代替品か、そうでないかを判断する基準等を知らなかったのが、そういう物があれば、もっとテレビやネット等で情報を出して欲しいと思いました。 最近、プラスチックの袋が有料化してごく稀にバイオマスの袋を無料でくれる施設があり、そういう物しか知らなかったのでも...

30～39歳	エコタウンなどがあるので、幼稚園や小学校で活用すぎだと思う。
40～49歳	プラスリサイクルを出せる場所をもっと増やして欲しい。 学校でフードロス、プラスチック代替品など、気候変動と交えながらの授業や勉強会があればいいと思う。
50～59歳	プラスチック代替品として紙などの素材が注目されています。カトラリーや包装などで同等の性能を持つ製品をプラスチック代替素材で製造するためにはコストがかかりすぎるといった問題が続きまとい、これがネックとなり世の中に普及していかない要因となっています。代替素材の使用を政府がこれまで以上に呼びかけ広げていく取り組みが必要です。
70歳以上	プラスチックの回収に助成金等の何がしかの助成をすると、課題解消につながるのではないかと。
30～39歳	あくまでも容器の中に入っている商品を購入しているので、容器に対して意識をむけさせるのはなかなか難しいと思っています。 プラスチック容器、プラスチック以外の容器でどちらが購入されるのか実験してみてもいいかと思いますが、いずれにしても容器は廃棄されるものになるので回収時の選別などで対応したほうがいいかと思いました。
50～59歳	再生プラだから良いとか、リサイクルをすれば良いとか、分解性だから良いとか、これらの考え方が嫌いです。どうしてゴミになる容器を安易に使用する生活スタイルなのかを考えて欲しいと思っています。起点は地球環境です、自販機は溢れ、何を買ってもトレーとラップの仕様、安価なビニール製の傘や使い捨ての商品など、便利になった分、再生しようが、分解性でつくろうが、結局は地球を消費していることになります。昭和30年代くらいの生活水準に戻れとは言いませんが、プラを使用する全てのメーカーにプラスチック税などのような負担を課すべきだと思います。
30～39歳	プラスチック代替品がそもそもどんなものかわかってないという人が多い気がする
50～59歳	海洋プラスチックの問題は息子が大学の卒論のテーマにしましたが、その卒論を読むまでは、言葉は聞きますが、他人事みたい感じでした。海洋プラスチックや食品ロスについては、重要な問題であり、日本全体で解決に向けて積極的に改善活動を行う必要がある判断しています。福岡県の方からも何らかの形で、市町村への情報発信や協業を積極的に実施し、まずはオール福岡県で活動する機会を作っていただきたい。
50～59歳	「食品ロス（フードロス）」の問題は、喫緊の課題ですね。県民（国民）の意識カイクからスタートすべきでしょうか。
60～69歳	資源は、限りがあるのでこのような取り組みを進めるのはいいことだと思います。私の周りでは、今コロナで宴会は、行われていませんが、以前はよく席に戻って食事をしましよと呼びかけをしていました。なかなか難しい問題だとは思いますが、食品ロスが出ていることをテレビCMで流したり、ネットに流したりすることは大切なことだと思います。 また、プラスチック代用品は高いのであまり使っていません。ただ、テレビ番組で人工芝がマイクロプラスチックを生むことをみてからは、気を付けて商品を買うように気を付けています。自分自身、まだまだ情報を知らない気がします。公民館の社会教育の講演会などを利用して、環境問題について知らせる機会をもってはどうかと思います。
60～69歳	不法投棄で再生可能なものが捨てられたり、環境破壊が起きたりしています。 不法投棄の罰則を厳しくして欲しい。



30～39歳	プラスチックが環境汚染に関わっていると知っているものの、安価であったり、管理しやすいという点から、手にとってしまいがちだと思います。
40～49歳	普段の生活している中でリサイクルできるもの（古紙などの紙類、食品トレー・洋服等）は出来る限り回収してくれる場所へ持っていくようにしています。 また、メルカリなどを利用し、物が循環していけるようにしています。
60～69歳	プラスチックの再生についての知識がほとんどなかったため、地球環境を守るため、温暖化を加速しないために、資源有効活用についてもっと学習しないといけないと思いました。 近所に再生可能の段ボール、プラスチック、紙類の資源置き場があります。そちらをよく活用しています。ごみと資源を区別することの大切さをもっと知ってほしいと思います。
40～49歳	地域の資源回収ですが、どのような方でも利用出来るようなしくみに変えてもらえると良いのではないのでしょうか。 資源の有効活用をと言っても、個々人が資源活用について行動出来るようなしくみが必要かと思えます。現行のしくみですと、全ての方が行動出来るようには思えません。
70歳以上	大きな経済の波はすぐすぐは全て変わる事は厳しいと思うので、まずは自分から日々意識していくのがベストかな、消費者が変わらないとお店側はしにくいですね。
40～49歳	ストローが紙タイプになる機会が増えました。最初は違和感がありましたが、今はなんとも思いません。お持ち帰りや商品を買う身としては、お店側にその選択肢をして貰うしかないのです。お店に並んでいるものを、「容器を変えてください!」とは言えないのです。なので個人よりも提供する側に徹底すべき課題だと思います。
60～69歳	プラスチック製品を出来るだけ代替えして行きたい
30～39歳	普段食品廃棄を減らすため食品のまとめ買いはせずその日または翌日必要な分のみ購入しています。 日本は湿度のせいもあるのかもしれませんが、海外に比べ食品やお菓子の梱包が二重、三重になっており無駄をととても感じます。ここ数年野菜購入時も野菜がプラスチックトレイに入っているのをよく見かけるのでやめて欲しいです。あと、年々パッケージのサイズは同じなのに内容量が少なくなっておりこれにも無駄を感じます。 潔く値段を上げて中身をちゃんと詰めるかパッケージを小さくして値段据え置きにして欲しいです。 余計にゴミが増えるし資源の無駄をいつも感じています。
40～49歳	非常に関心が高い「環境問題」に関することでもあり、子どもたちへの教育や啓もうにさらに力を入れるべきだと思う。
70歳以上	県民の皆様への広報が重要だと思いますので、あらゆる機会を通じて繰り返し広報すべきだと思います。
20～29歳	最近スターバックスで、ストローを紙かプラスチックか選ぶことができるようになりました。 実際紙ストローは環境に優しいと思いますが、冷たい飲み物を飲むとどンドンデロデロになり、やっぱりプラスチックが良いなと思ってしまいます。逆にスーパーで買うお惣菜なんかは、プラスチックの容器ではなく、紙のほうが捨てやすいのと思います。便利な物と、環境に良い物の、両立は難しいと思いますがそれは人によって、選ぶことが出来れば良いと思います。例えば私は紙ストローは不便だと感じますが紙ストローでも充分だ、不便と感ない人もいます。なので、今後も店によっては、環境に優しい、資源にやさしい選択肢を選んで、自分で出来る事を出来たら良いと思います。

30～39歳	<p>休校などで無駄になる給食(パンなど)は廃棄されてるのか、廃棄せずに動物の餌になる、または配布や寄付がされてるなら、そのルートを発信してほしいです。(SNSなどでも構わないので)</p> <p>廃棄されたままなら活用方法などを確立してほしいです。</p>
18～19歳	<p>SDGsを掲げた活動は、ときにSDGsを免罪符とした欺瞞的なものになりうる。現在の資源の有効活用に関する活動も、すべてSDGsに当てはめようとして、目的が明確でないと感じることもある。</p>
30～39歳	<p>環境問題を若者により身近に感じてもらうことが1人1人の意識の変化へつながるのではないかと思います。環境活動家やオーガニック専門家のインフルエンサーの方もいます。SNSを通じて広めることが若者への情報源としては一番かと思いますが、インフルエンサーの方の講演会なども開催していただくととても嬉しいです。興味がある若者は参加してまたSNSで広めてくれるのではないかと考えます。</p>
70歳以上	<p>資源の有効活用については、企業がすでに努力していると思いますが、我々消費者の認識がまだまだ低いような気がします。購入する際、ボトル表示などは必ずチェックしますが、いざ購入する際識別するまでにはなかなかハードルが高いような気がします。特に高齢者などは、現実そこまで考慮して購入しているのでしょうか。更なる企業努力が必要かと思えます。</p>
70歳以上	<p>だいぶ認識は進んでいると思うが、レジ袋、スプーン、ストローなど全廃するのに時間がかかりすぎている。行政がもっと強い指導をするべきである。</p> <p>食品の個包装が多すぎる。消費者が容器を持って買い物できるシステム作りも考える必要が高いのではないか。</p>
30～39歳	<p>自宅では100回洗濯機で洗える竹のキッチンペーパーを使うようになりました。</p> <p>より環境に優しく、コスパも良く家計に優しいものを代替えとして生活の中に徐々に取り入れていきたいです。県からサンプルとなるものが配布されると賛同した家庭で需要がUPすると思います。</p> <p>スタバで紙ストローを導入するなど、企業努力は消費者として嬉しいものがあるのでそのような店に今後人が集うことを願っています。</p>
60～69歳	<p>過剰包装をやめて欲しい。例えば野菜、発泡スチロールのお皿にラップかけは、やめて欲しいです。</p> <p>袋に入れるだけで十分です。</p>
40～49歳	<p>石油由来のビニール、レジ袋は、燃えやすいので焼却の際に燃料を制限できると聞いたことがある。</p> <p>善か悪かだけでなく、有効活用の可能性もあるのでは？</p> <p>バイオマスレジ袋は、そもそも有料義務ではないとの国会答弁もあるので、県民に負担を課すだけでなくそういう広報もお願いしたい。</p>
40～49歳	<p>食べる量自体を適量にするように心がけています。食事も次の食事にも活かせるように考え、夜と次の昼はほぼ同じものを食べ、イベント以外は贅沢にならないようにしています。現に戦争があっている中、少ない食品でも贅沢せず生きていける術を身につける必要があると思います</p>
40～49歳	<p>前回は記したがレジ袋廃止がムダでしかない。現に他で代用品を購入しており、家庭でのゴミ袋になっていたものを購入するという本末転倒になっている。</p>
60～69歳	<p>フードバンクを利用したことがあります。近所で行なわれる頻度が少なくあまり提供できていません。また、最近は買いすぎないようにしているので提供できる物も減りました。</p> <p>コンビニやデパートで大量に売られている惣菜類は結局捨てられているのかなとよく思います。ケーキなども賞味期限が短いのでどうしているのかと思います。東京とかだとSNS経由で余っているものを売りますという情報が発信されて購入できるようですが、福岡の地方都市でもそういうサービスがあったらいいのに、と思います。</p>

20～29歳	レジ袋有料化になったがゴミを捨てる時にはビニール袋を使用するので本当にエコになっているとはいえない
30～39歳	未来を担う子供たちのために大人が今できることは何か。環境のことも考えなくてはと思う一方で、上記に書いてあったプラスチックのことなど知りませんでした。福岡だよりなどに大人も子供も読んでわかりやすい記事が載っていたら、みんな勉強になるのではないかと思います。私も福岡だよりに載っていたら読むと思います。
50～59歳	食品ロス絶対にあってはならない事です。もっと削減努力が必要かと思います。スーパーで言えば、値下げをしてでも完売させる等、企業努力に期待したいと思います。
20～29歳	プラスチック代替品を利用した商品を購入した際に例えば、リサイクルボックスに持って行った際にスタンプを押し貯まったら役所で何かと交換できるなど特典があると浸透するのかな？と思います。 大前提に、環境にいいのはなんとなく分かりますが、スーパーでどのマークが環境配慮のプラスチックなのか分からないのでPOPがあると手にとりやすいです。
30～39歳	考えは大切だと思うが、家計を考えると値段は大きな要素になる。 値段が高すぎると選べないです。
30～39歳	プラスチックのストローの提供を止めた飲食店や、その代わりに紙製のストローを提供しているコンビニなどがあるが、現時点では、紙のストローだと飲んでいる途中で折れ曲がったり、紙の味が若干するなどして少し不満。改良が進むと良いと感じている。
70歳以上	食品ロスなどのことは知っていて自分ではやってるつもりですが、こうしていろいろな表示を見てももう少し詳しくなってやらないといけないとアンケートやりながら思っています
60～69歳	バイオマスプラスチックにはまだ未解決の問題ありと聞いたことがあり、安易に百ゼロでは飛びつけないような気がする、
20～29歳	プラスチック代替品など、地球環境に優しい商品は高価なイメージがあります。 そして、紙ストローが代表するように不便なイメージもあります。 私は、不便なのを我慢してまで協力する必要があるのか疑問に思っています。
40～49歳	個人の活動で意識しないといけない問題でもありますが、食品を提供する仕組みの段階で石油製品を加工したものが大半だと思います。 現代の自由競争が生み出した問題かもしれませんが、それぞれの業界が動かないとなかなか変わらないと思います。
20～29歳	給料は上がり物価が上がっていることから、環境のことを考えて商品を選ぶほどの余裕がない人が多くいると思われる。 プラスチック代替品を用いた製品を使ってほしいと考えるのであれば、プラスチックよりもプラスチック代替品を安くすることが1番効果があると考えます。 環境のことを考えると高くなることが多いことから、SNSで環境についての投稿をすると、”意識高い系”や、”金持ちの道楽”というように反感を買うことが多い印象である。 環境に良いものを使うメリットを、環境以外の視点をういて提示し、それぞれのデメリットも併せて表記すると、受け入れやすくなるかと思う。
20～29歳	食品ロスはどこでどのように処分されているのかなど知りたいです。
60～69歳	「地産地消」とリンクして活動する。具体的には、各市町村で活動している団体と連携してイベントを企画し、「フードロス」をアピールしていく。

60～69歳	フードロスにせよ、プラスチック、化石燃料等の資源についても早急に取り組む問題であり、県がオピニオンリーダーとして県民運動を起こしていることは誇らしいことである。ぜひ、県民の意識を循環型社会の形成に向けさせてほしいと考える。
20～29歳	もっとリサイクルボックスを増やしてほしい。特に電池など小型家電などを捨てられる場所。
30～39歳	ペットボトルや食品トレイ、牛乳パックなど資源ごみの回収場所がもっと増えたらいいなと思います。また、ビンなどの回収も増えたらいいなと思います。
60～69歳	福岡県内でも行っている再生品のことをもっと知りたい。木材や竹など間伐をつかった製品の開発などにも予算をつけて県内でのリサイクルとして循環システムをつくってほしい。
40～49歳	フードロスの取り組みとは具体的にどのような事をしているのでしょうか。恥ずかしながら全然知りませんでした。 二酸化炭素の排出関係と気候変動について政治的には関係あるようになっていますが、そもそも因果関係がはっきりしていないと個人的には考えていますので、ごみ処理の技術向上や、ごみが正しく処分されるのであれば（ごみのポイ捨て、違法廃棄等がなくなる）、そもそもプラスチックにこだわる必要がなくなるのではと思います。
40～49歳	飲料メーカーがペットボトルをリサイクルといいつつ、結局それに替わる代替案もなく他で微々たるものをプラスチック代替品に変えようとするのが今だに理解できない。主婦としてはリサイクルポイントや、清掃活動するとゴミ袋もらえたり、あるスーパーの取り組みのように環境にやさしい袋を3～5円で買うぐらいなら市のごみ袋を購入して詰めて帰るほうが新たな不要なものを作成して環境破壊につながらず合理的。今ある資源を使ったり、不要なものは削減するというのが本来の姿と思われる。
70歳以上	昨今、特に消費食品に目が行き届いて無いように思います。有効活用の幅はもうすこし広げられませんか。
60～69歳	新聞やチラシに関して今もまだ紙媒体で行われている。抜本的見直しができないか。
20～29歳	資源有効活用の対策をやるよりも、結果観察を念入りにしていただきたい。例えばレジ袋が有料化になりどれだけの海洋ごみが増えたのか。また、結果に応じた次の策は何なのか。県が何人でどのように分析しているのかなどが全く見えてこないです。
40～49歳	価格が同じなのに消費期限の近いものを選びはしない。少なからず劣化しているから。値段に差あって初めて、消費期限の近い商品を検討する。
60～69歳	資源ゴミに出せる物は出している。分別も福岡市の場合はさほど細かいのでふつに行える。卵パックもきれいでどの家庭でもあるだろうからこればかりは代替商品にならないので回収のシステムを作って欲しい。
40～49歳	再生プラスチックやバイオマス等、新しい製品を見たことがないので、区別がつかない。再生できるもので包装できると良いと思うが値段が上がるのは困る
18～19歳	お土産を包むものは箱で包んであるものより、ビニールで包まれたもののほうが安い。 ビニールに課税したり、そもそもパックとして売るのでなく、バラで売ったりなど販売者の視点からの変化も求められると思う。
70歳以上	食品は必要な量以上に買い物をしない 又、他の物も安いからとかその内 必要になるかもなどの理由で購入しないにしている。

50～59歳	<p>買い物では、なるべく地元産のを選び、食べきれ的分だけを購入し、食べ残しをしないという事を実践しています。</p> <p>また、食品ロスに取り組んでいる企業から購入することも心掛けています。</p>
40～49歳	<p>プラスチック代替品は、価格と使用感のバランスがよくなければ浸透しないと思う。</p>
50～59歳	<p>資源回収場所が少ない！</p> <p>ペットボトルもしてほしい。</p>
20～29歳	<p>プラスチック代替品という言葉自体初めて耳にしたので、言葉の意味も含め様々な媒体で周知すべきだと思う。</p>
60～69歳	<p>食品ロスというのは、とても大きな問題であり、私たちも真剣に取り組むべき課題であると考えています。意識して自分にできることから取り組んでいます。</p>
50～59歳	<p>資源を有効に活用することは、教育によってどうにでも変えられるはずである。それよりも、価格競争やロスを減らすための社会的仕組みを考えて改善していく方が実践的である。極端な話、高いからバイオマスプラスチックや再生プラスチックが普及しないのであれば、それを使うことで税金を安くする等のダイナミックな戦略を取るのである。「福岡県は47都道府県で最も環境に優しい自治体を目指す」と宣言するだけでも効果は高い。全国からそういうことを目指す人が流入してくるし、環境特区×経済特区を設けて一気に変えられる。世界も注目するはずだ。</p>
30～39歳	<p>フードロスに関しては、いただきものが多いときや手を付けられず口にしていないものはご近所に分けてもらってもらう</p>
70歳以上	<p>プラスチック袋の有料化など進めているが、街で見かける風景から実態はまだまだの状況と考える。子供達からの教育を強力に進めて、行くしかないと考えます。外国人から見た日本はゴミなどが無く美しい国の評価を頂いた事を私自身経験しており、これは日本国民が親からの躾を叩き込まれているからだと思います。このレベルで幼い時からの教育、躾が大事と考えます。</p> <p>行政としての手助けがあるのではないかと考えます。</p>
30～39歳	<p>リサイクルについては、リサイクルに費やす、エネルギーのことも意識し、総合的に最もエコな取り組みを意識して欲しい。リサイクル=正義ではない。</p>
30～39歳	<p>食品ロスのために、買い物で今日中の食べるものは、おつとめ品からえらぶことが増えた。</p>
60～69歳	<p>プラスチック代替品の価格がやはり重要だと思う。</p> <p>良いとわかっていても、かなり高価になると躊躇する。</p> <p>あと、入替用が逆に高かったりするので、おかしいと思う事がある。</p> <p>ファーストフードのプラスチックをやめられないのか？ストローだけを紙製に替えたところで、意味ない。</p>
50～59歳	<p>うちの近くに竹林がありますが手入れをしていないところはうっそうとしています。竹を使って箸やしゃもじ・ザル作りなど近年のSDGsの取り組みにあわせて、害と言われるものを再生活用していただきたいです。手間ひまかかると思います。でも物を大事に使うようになったり使い捨てのゴミを減らすことにもつながりますし、竹に関しては県に力を入れて取り組んでいただきたいと思います。</p>
30～39歳	<p>私はスーパーの惣菜で働いて11年ですが、過剰包装などを省くのが第一だと思います</p>
60～69歳	<p>県内の自治体によっては、プラスチックの分別収集が進んでいない。</p>
30～39歳	<p>コンビニなどのスプーンやストローが、事前に木のスプーンと知らなくともらってから知った</p>

20～29歳	<p>消費者はあくまで、再生利用など考えずに価格だけを見て買い物すると思います。</p> <p>行政側から、金銭的なデメリット(税)やメリット(還元)のある策で再生利用を推し進めてほしいと思います。</p>
20～29歳	<p>県内全域にプラスチック容器包装の分別袋を作るべきだと考えます。また、プラスチック容器包装以外のプラスチック製品もリサイクルできる手段はないのかなと思っています。</p>
60～69歳	<p>このテーマは大きすぎて簡単には語れない。企業、販売店、消費者それぞれが大きな課題を抱えています。販売店、消費者としての行動対応には限界があります。この問題の解決は企業がプラスチック製品を作らない、代替品製造に努力することです。プラスチック製品がなければ消費者は買えないし、プラスチックゴミも発生しません。まずは国を挙げて自治体の協力を得ながらスタートすべきです。消費者ばかりに協力を求めても解決になりません。</p>
50～59歳	<p>洗浄するだけでリユースできるプラスチック容器がもっとあるといいと思う。</p> <p>資源ごみとして回収して再生する手間と費用が抑えられる。</p> <p>テイクアウトのお弁当容器など県内である程度統一できないものだろうか。プラスチックの資源ごみも回収しても再生されないで多く倉庫にたまっていると聞いている。</p> <p>プラスチック代替品も結局ごみにはなってしまう。</p>
60～69歳	<p>今山には孟宗竹などが放置され問題化しています。この竹をプラスチックの代わりに利用出来ないかと思っています。</p>
30～39歳	<p>買物袋の有料化を疑問に思っています。買物袋の代わりにマイバックを使っても、ゴミ袋としてビニール袋は必要なので結局ビニール袋を購入しています。負担が増えているだけです。新聞紙で代用するなど聞きますが、新聞は料金がなくて取っていません。それよりもペットボトルジュースの容器を紙パック容器に変えるなどをする方が環境に優しいですし効果もあると思います。まったく末端の国民の生活をわかってきてないな、と思っています。福岡県だけでも変えてほしいです。</p>
60～69歳	<p>代替品の包装を意識して買い物をしていなかったのこれから少しずつ意識を変えていこうと思います。</p>
50～59歳	<p>エコバッグなど実施されてから効果がどのくらいあったかを公表をして欲しい。</p>
40～49歳	<p>ゴミの分別で、家庭でのプラスチックゴミの多さには毎回驚きます。自宅では、食事は作り過ぎないように、(例えば、夕飯では、肉か魚のどちらかにして、1人あたり60グラム、など。)食品廃棄率を軽減するようにしています。無駄なビニール袋を使わないようにマイバック持参する、など。今日、えるる(大牟田の学習室)で「エコふぁみ」というアプリを知りました。省エネ、省資源を目的にしたもので、これも、良い取り組みと思いました。</p>
30～39歳	<p>過剰包装を抑えるような取り組みが行われると良いなと思います</p>
60～69歳	<p>プラスチック代替品の推進よりも、根本的に廃棄物が生じない持参容器などの活用推進を積極的に図るべきだと思います。</p>
40～49歳	<p>例え石油プラスチックの容器に入っている商品を購入したとしても、その容器をリサイクルするのではいけないのか、プラスチック容器の商品を購入しないとフードロスにつながるのですか？物価高騰の現在、生活にやさしく誰もが出来ることを提案してほしい。</p>

30～39歳	<p>問3で文言が出てきているが、選択肢5「外食の際に、食べ切れなかったものは持ち帰るようにしている」は、出来るならやりたい。</p> <p>食べたくてその店に行っているし、お金も払っている。だけど、おそらく食中毒リスクのためにそれを行えない。飲食店は、お客さんに対応するために、ある程度食材のストックが必要。フードロスの多くは、食品を扱う店への対策が大きいのではないかと思う。</p> <p>買物が直ぐにできるなら、価格が安定しているなら、買い置きを沢山する必要もない。なぜ買い置きをするかというと、1、収入-支出バランスへの対策が必要な社会情勢や未来への不安、2、外出頻度が減ってしまうという健康状態が安定しないや移動手段が確保できない、3、地震・大雨などの自然災害（予期せぬ出来事：不安）への備えが思い浮かぶ。目先のフードロスへの対策は、こういう背景に取り組まなければ解決しないのではないか。</p> <p>プラスチックについても、結局コストが一番。代替りの物が安いのであれば、この不景気な世の中なので、安価な方に人は動く。少し高くても繰り返し使えるメリットがあれば、人はそちらに動く。例えば、県庁が使用を促している代替品へ切り替えれば、企業が儲かる、助成金がある…不景気なのでお金の方が人が動く。次に動くのは、広報力。小さな個人店だったとしても、チラシを作らなくても、取り組んでいたら名前を売ってくれるなら喜ぶ人もいる。個人単位では、その製品でしか売られてないなら受け入れるしかない。あとは価格によって普及するかどうか。</p>
60～69歳	<p>食品ロスは気になっている問題です。</p> <p>まだ食べれそうな食品が処分されるのは見るに忍びなく、社会的にクローズアップされている貧困の問題ともリンクさせて、より良い方向に持っていきたいですね。</p>
20～29歳	<p>具体的な地域名は忘れたが、商業施設の有料買い物袋を地域で定められたゴミ袋にして販売しており、良い案だと感じた。</p>
30～39歳	<p>プラスチック代替品を私の住んでいる地域では見かける事ありませんので、どういったものがあるか県から情報を発信して知らせてほしいです。</p>
40～49歳	<p>そもそも、トレイに入れず、真空パックにすればトレイを削減できる</p> <p>真空パックを石油プラ以外で作れるかは知らないのですが、できるならそちらを推奨しては？</p> <p>資源について突き詰めるなら、箸や木のスプーン等のカトラリー配布もやめるべき</p> <p>企業が、過剰包装等を辞めないと変わらないと思う</p>
60～69歳	<p>今の取り組みで良いと思います。</p>
30～39歳	<p>スーパーで売っている野菜は形状が規格で決まっていますが生産農家さんでは規格外の野菜は市場に出荷しない。考えるとこれはおかしいことで行政としても少し干渉されてもいいのではないかと思う。例えばスーパー内に規格外コーナーを設ける。（但し価格は少し安く）生産者も消費者もともにウインウインで非常にいいことだと思うのですが。</p>
60～69歳	<p>食品の過剰包装は今でも気になります</p> <p>お刺身などに添えてあるつま(大根や大葉)など食べないのに勿体ないと思っています</p>